

令和4年度 施策評価シート《令和2年度・令和3年度評価》

評価日		令和4年10月31日		No. 6 - 1		
基本事項	施策名	第1節 広聴・広報の充実	所管部署名	政策室		
	まちづくり目標	第6章 まちづくりの推進のために（行政運営）	評価責任者	浅水 明彦		
	施策小項目	1 広聴の充実		関連部署名(1)	政策室	
		2 広報の充実		関連部署名(2)	議会事務局	
				関連部署名(3)		
			関連部署名(4)			
施策の目的	・市政に反映させるために、的確な市民ニーズを把握することをめざす。 ・市政を市民に伝えることで理解が高まることをめざす。		役割分担	市民の役割	市が展開する施策に対する理解と関心を高め、積極的に市政に対して意見・要望などを発信することに努める。	
施策に関する個別計画				行政の役割	市民の多様なニーズを把握し市政に反映するため、市民の意見・要望を積極的に聴取するとともに、市民が要求・期待する市の情報を積極的に市民に発信する。	

区分	指標名 (上段)		単位	設定時の値	実績値① (年度)	実績値② (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質 (下段)							
①	広報よしかわを毎月読んでいる人の割合		%	62.0	48.8	38.6	D	77.0
	増加することが良いとされる指標			H28	R2	R3		R3
②	プレス発表における新聞等への掲載回数		件	71	67	35	D	88
	増加することが良いとされる指標			H27	R2	R3		R3
③								
④								

評価軸	評価方法		評価点
	指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 2点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数
施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調 (100%以上の達成度) <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調 (80%以上の達成度) <input type="checkbox"/> やや順調でない (50~80%程度の達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない (50%未満の達成度)	評価理由・説明 広報よしかわを毎月読んでいる人の割合が減少している一方、ホームページの閲覧者数が大きく増加している。デジタル化への変動によることも理由の一つと考えられる。なお、市民意識調査において、広報よしかわから「必要な市政情報を得られているか」との問いに対し9割が得られていると回答し、年々上昇している。新聞等への掲載回数においては、コロナ禍によるイベントの減少等によりプレスリリースの回数が減少した。今後イベントが再開される中で、各部署が効果的に周知できるように意識していく必要がある。	3点
市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	市民ニーズは市民意識調査などで把握を行っている。より多くの方に市政情報を届くようにするために、各事務事業において不特定の方を対象にした情報発信については、高齢や障がい、病気、あるいは他の身体的・認知機能的な特性により制約や偏りがあっても誰もが情報を入手できるよう(アクセシビリティ)に配慮をした。	3点
施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	事務事業の構成としては、施策の目的を達成するに十分な内容であるが、各事業において、時代のニーズに合わせ、重点的に実施するものや手法を検討する必要がある。 ※構成する事務事業については裏面を参照	4点
総合評価	施策に関する現状と課題		3点
	情報の発信媒体の多角化により、対象や発信内容にばらつきがある。各事業において、社会的背景を鑑み、重点的に実施するものや手法を検討する必要がある。		
事務事業構成			評価軸 ①~④の 評価点の 平均点

貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)		
			成果指標名	単位	R3目標値	R3実績値			
構 成	1	101201	広報よしかわ等発行事業	1	広報よしかわ掲載内容や情報量への市民満足度	%	90.0	90.0	現状のまま継続
	2	101202	市ホームページ管理運営事業	1	ホームページアクセス数	回	12,000,000	10,131,250	現状のまま継続
	3	101205	市民の声事務	1	期限内回答数	%	95.0	99.0	現状のまま継続
	4	101314	市民意識調査事業	1	市民意識調査の回収率	%	50.0	45.4	現状のまま継続
	5	101203	パブリシティ事務	1	マスメディアを通じて市民へ情報提供された件数	件	84	35	現状のまま継続
す る	6	904101	議会広報発行事業	1	配布部数	部	108,656	108,800	現状のまま継続
	7	101210	市勢要覧制作事業	1	市勢要覧制作進捗状況	%	100.0	100.0	廃止・休止
	8	101206	市長とランチミーティング事業	1	参加者の満足度	%	100.0	100.0	現状のまま継続
	9	101204	ラジオ番組制作事業	1	ラジオ放送聴取率	%	5.0	2.0	現状のまま継続
	10	101208	市長キャラバン事業	1	参加者数	人	40	-	現状のまま継続
	11	101207	一日市長事務	1	参加者の満足度	%	100.0	-	手段を改善
事 務 事 業									

特記事項
市長キャラバン事業については実施無し、一日市長事務については新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施無し。

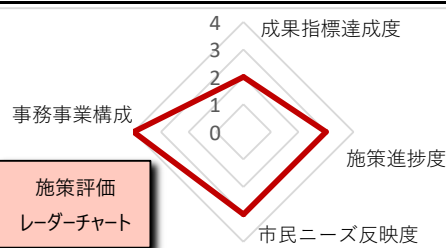
今後の展開
引き続き、身体的・認知機能的な特性により制約や偏りがあっても誰もが情報を入手できるようアクセシビリティに配慮した情報発信を心掛けていく。なお、情報の発信媒体の多角化により、対象や発信内容にばらつきがあるため、各事業において社会的背景を鑑み、対象を整理し重点的に実施するものや手法を検討していく。

令和4年度 施策評価シート《令和2年度・令和3年度評価》

評価日		令和4年10月31日		No. 6 - 2		
基本事項	施策名	第2節 情報公開の推進		所管部署名	総務部	
	まちづくり目標	第6章 まちづくりの推進のために（行政運営）		評価責任者	戸張 悦男	
	施策小項目	1	情報公開・個人情報保護の適正な運用		関連部署名(1)	総務部庶務課
		2	積極的な情報の提供		関連部署名(2)	議会事務局
					関連部署名(3)	
				関連部署名(4)		
施策の目的	<ul style="list-style-type: none"> 市民が必要な市の情報を必要ときに入手できることをめざす。 市の保有している個人情報をも本人の権利利益を害することのないよう管理することをめざす。 		役割分担	市民の役割	市が保有する公文書の情報公開請求や個人情報の開示請求によって、市政運営や個人情報の管理などが適正に行われているかを確認することに努める。	
施策に関する個別計画				行政の役割	市民がいつでも自由に行政情報を入手し、知ることができるようにし、市政への市民参加を促進するとともに、自己に係る情報を自らが管理する「自己情報コントロール権」を市民が行使できるようにする。	

区分	指標名（上段）		単位	設定時の値	実績値① (年度)	実績値② (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質（下段）							
①	情報公開制度・個人情報保護制度研修の修了者数		人	172	189	228	C	300
	増加することが良いとされる指標							
				H25～H27の累計	H29～R2の類型	H29～R3の類型		H29～R3の累計

評価方法			評価点
評価軸① 指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80～99%)、 C=2点(達成度50～79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。		合計点は 2点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数
評価軸② 施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調（100%以上の達成度） <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調（80%以上の達成度） <input type="checkbox"/> やや順調でない（50～80%程度の達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（50%未満の達成度）	評価理由 事務事業は計画どおり実施できている。職員に対する研修も予定どおり実施しているが、研修参加者が目標より下回っている。 市民ニーズを調査等で把握していないが、市民が市の情報や市が保有する自己情報の開示を求めることは当然であり、市民ニーズは反映できていると考えられる。一方、若干、職員の制度に対する理解不足が見受けられる。 情報公開は、制度のみならず日常の情報提供も当てはまるものであり、それぞれの事務事業で実施されているが、現状の事務事業の構成で妥当である。 ※構成する事務事業については裏面を参照	3点
評価軸③ 市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった		3点
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった		4点
施策に関する現状と課題 ・研修参加者は目標値より下回っているが、事務事業は計画どおり実施できている、事務事業の構成も妥当であるとする。情報公開請求件数も増加傾向で市民に制度が定着しつつあるが、一方で職員が対応する場面が増えることから、職員への理解を深める必要がある。 ・市議会ホームページアクセス数は目標値を下回ったが、議会インターネット中継視聴者数は年々増加しており、市民の議会への関心は維持している。			総合評価 3点 評価軸①～④の評価点の平均点



貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)	
			成果指標名	単位	R3目標値	R3実績値		
構 成	1	201104	情報公開及び個人情報保護事業	1 適正な情報公開・個人情報開示率	%	100.0	100.0	現状のまま継続
	2	904204	議会情報提供事業	1 市議会ホームページアクセス数	回	32,050	24,172	現状のまま継続
成 す る								
事 務 事 業								

特記事項

- ・情報公開・個人情報開示等件数は、78件（R3）で、前年度より19件増加した。また、職員39人（R3）に対して制度研修を実施した。

今後の展開

- ・情報公開及び個人情報保護事業については、特に情報公開請求の件数が増えてきている。引き続き制度に関する研修を実施していく。
- ・市民の議会に対する関心がさらに高まるよう、迅速かつ分かり易い表現で議会情報を提供していく。

令和4年度 施策評価シート《令和2年度・令和3年度評価》

評価日	令和4年10月31日	No.	6 - 3
-----	------------	-----	-------

基 本 事 項	施策名	第3節 情報化の推進	所管部署名	総務部
	まちづくり目標	第6章 まちづくりの推進のために（行政運営）	評価責任者	戸張 悦男
	施策小項目	1 情報機器の適正な管理運用	関連部署名(1)	総務部庶務課
		2 情報通信技術を活用した利便性の向上	関連部署名(2)	総務部市民課
			関連部署名(3)	
		関連部署名(4)		
施策の目的	情報通信技術を積極的に活用し、市民の利便性の向上をめざす。		市民の役割	マイナンバー制度の内容を理解し、カードの取得並びに活用に努めるとともに、市が展開する窓口サービス業務の電子化に対して、意見や要望などを行政に発信することに努める。
施策に関する個別計画				

区分	指標名 (上段)	単位	設定時の値	実績値① (年度)	実績値② (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質 (下段)						
指 標	① 情報通信技術を活用した手続きの導入件数	件	3	73	135	A	8
	増加することが良いとされる指標		H27	R2	R3		R3

施策の評価	評価軸①	評価方法		評価点
	指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は	4点
評価軸② 施策の進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 順調 (100%以上の達成度) <input type="checkbox"/> おおむね順調 (80%以上の達成度) <input type="checkbox"/> やや順調でない (50~80%程度の達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない (50%未満の達成度)	評価の理由・説明	施策は計画どおり実施できている。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、情報通信技術を活用した手続きの導入件数が大幅に増加した。	4点
評価軸③ 市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった		新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、非対面での手続きのニーズが高まっており、導入件数の大幅な増加に繋がった。	3点
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成	<input type="checkbox"/> 妥当であった <input checked="" type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった		事務事業の構成についてはおおむね妥当であったが、自治体のDX推進の視点での検討をする必要がある。 ※構成する事務事業については裏面を参照	3点
評価	施策に関する現状と課題			
	・ 施策に関する現状は順調であるが、国の自治体DX推進計画に基づいた、施策の内容拡充等が必要である。 ・ コンビニ交付の推進に当たっては、マイナンバーカードの普及が大前提であり、DX推進の基盤としてマイナンバーカードの普及は欠かせない。			4点
		施策評価レーダーチャート		評価軸①~④の評価点の平均点

	貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)
				成果指標名	単位	R3目標値	R3実績値	
構 成	1	201203	行政情報システム事業	2 埼玉県電子申請共同システム申請人数	人	6,000	9,199	拡大
	2	201201	住民情報系システム事業	1 システムの障害件数	件	0	1	拡大
	3	201202	住民基本台帳ネットワーク事業	1 保守業者との運用会議	回	12	12	他の事業に統合
	4	203203	コンビニエンスストア証明書交付事業	1 コンビニ交付利用件数	枚	5,000	5,518	現状のまま継続
成 績 を 示 す る 事 務 事 業								

特記事項

- ・ 情報通信技術を活用した手続については、埼玉県電子申請・届出サービスを活用した手続きの件数としており、主にイベントの参加申込・アンケートなどの手続きに利用されている。
- ・ コンビニ交付については、マイナンバーカードの交付枚数の増加に伴い、利用件数が増加した。

今後の展開

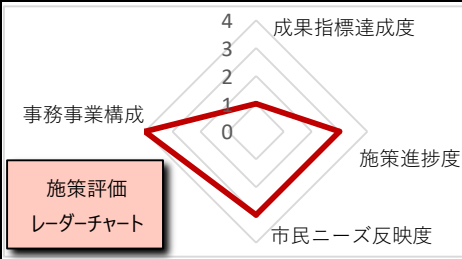
国の自治体DX推進計画においては、行政手続きのオンライン化が定められており、マイナポータルからマイナンバーカードを用いた手続きの取り組みが求められている。新型コロナウイルス感染症対策で増加した電子申請については、アフターコロナにおいてもニーズの高まりが継続していくことが予想されるため、今後も取り組みを充実させる必要がある。

令和4年度 施策評価シート《令和2年度・令和3年度評価》

評価日		令和4年10月31日		No. 6 - 4			
基 本 事 項	施策名	第4節 計画的・総合的な行政の推進		所管部署名	政策室		
	まちづくり目標	第6章 まちづくりの推進のために（行政運営）		評価責任者	浅水 明彦		
	施策小項目	1	行政評価によるマネジメントの推進	5	人事管理の充実	関連部署名(1)	政策室
		2	品質マネジメントシステムの推進			関連部署名(2)	
		3	計画的な行財政改革の推進			関連部署名(3)	
4		組織体制の整備			関連部署名(4)		
施策の目的	<ul style="list-style-type: none"> 明確な目標設定と評価、評価に基づく継続的改善が行われることをめざす。 市民満足度のより一層の向上をめざす。 社会情勢等により変化する行政需要に迅速かつ的確に対応できる組織をめざす。 職員研修の充実により職員の能力の向上、専門性の育成を推進するとともに、優れた人材の確保をめざす。 			役割分担	市民の役割	市の施策に対する関心を高め、まちづくりの想いを共有することに努める。	
施策に関する個別計画	第5次よしかわ行財政改革大綱(令和2年度～令和6年度)					行政の役割	各分野の計画における施策などの目標を明確にし、進行管理と説明責任を果たす。また、自らの創意工夫を持って、自治体経営を行う。
	吉川市定員適正化計画（第6次：平成27年度～令和2年度、第7次：令和3年度～令和8年度）						
	吉川市人材育成基本方針(平成30年度～)						

区分	指標名 (上段)		単位	設定時の値	実績値① (年度)	実績値② (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質 (下段)							
①	市全体の取り組みに対する満足度		%	72.3	68.8	73.3	D	80.0
	増加することが良いとされる指標			H28	R2	R3		R3
②	事務事業評価の達成度		%	77.7	71.4	73.8	D	80.0
	増加することが良いとされる指標			H27	R2	R3		R3

評価軸	評価方法		評価点
	評価軸① 指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80～99%)、 C=2点(達成度50～79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。 合計点は 2点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数	
評価軸② 施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調 (100%以上の達成度) <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調 (80%以上の達成度) <input type="checkbox"/> やや順調でない (50～80%程度の達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない (50%未満の達成度)	評価理由・説明 ・目標指標である「市全体の取り組みに対する満足度」(市民意識調査における「行政サービスに対する満足度」)については、当初値よりは増加しているものの、新型コロナウイルス感染症対策に関する意見等もあり、目標を達成することができなかった。 ・事務事業評価の達成度についても、コロナ禍により事業が実施できなかったこと等により、目標値を達成することができなかった。 各種計画の策定にあたっては、市民参画手続きにより意見聴取を行うことで、計画への反映に努めている。また、市民意識調査を毎年行い、全庁で、様々な事業の検討に活用しているが、多様化する市民ニーズの全てを反映することは困難である。 基本構想に掲げる将来都市像の実現に向け、効果的な行政運営の実施や、効率的な業務執行を図る事務事業により構成されており妥当である。 ※構成する事務事業については裏面を参照	3点
評価軸③ 市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった		3点
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった		4点
施策に関する現状と課題			総合評価 3点 評価軸①～④の評価点の平均点
・多様化する市民ニーズや新たな行政課題に柔軟かつ迅速な対応が求められる。効果的かつ効率的な行政運営を行うため、限られた資源の効率的な活用や、民間手法の研究などを引き続き推進していく必要がある。 ・今後の少子高齢化や人口減少に備え、職員一人ひとりの資質の向上が不可欠となっている。			



	貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)
				成果指標名	単位	R3目標値	R3実績値	
構 成	1	101312	総合振興計画策定事業	1 基本構想の策定に係る進捗率	%	100.0	100.0	現状のまま継続
	2	101315	行財政改革推進事業	1 <small>【計画通り】「一部実現できなかった計画に影響はない」と評価された割合</small>	%	80.0	97.3	現状のまま継続
	3	101405	人事管理事務	1 育児及び介護支援制度の申請件数	件	40	52	現状のまま継続
	4	101401	職員研修事業	1 意識変化率	%	90.0	89.0	現状のまま継続
	5	101410	職員採用事務	1 職員採用者数	人	15	27	現状のまま継続
	6	101316	ISO9001 供給者適合宣言事業	1 行政サービスにおける満足度	%	80.0	73.3	現状のまま継続
	7	101317	行政評価事業	1 事務事業評価の業績評価（成果評価）割合	%	85.0	73.8	現状のまま継続

特記事項

- ・令和3年度に「第5次吉川市総合振興計画」が計画満了となることから、これまでの総合振興計画を検証し、市民ニーズや社会経済情勢の変化等を踏まえながら「第6次吉川市総合振興計画」を策定した。
- ・令和3年度に「第5次よしかわ行財政改革大綱」に沿った市の具体的な取組を定める、「よしかわ行財政改革推進プラン」の改革事項を見直し、第2期プランを策定した。
- ・職員研修について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から非対面式のオンライン型研修を積極的に活用し、移動に係る時間的コスト及び交通費等の金銭的コストを削減した。

今後の展開

- ・第6次吉川市総合振興計画前期基本計画を計画的に推進するため、社会経済情勢等の変化に応じ実施計画の見直しを行っていく。
- ・引き続き、供給者適合宣言によりISO9001品質マネジメントシステムを運用することで、継続的な改善を図り、市民満足度の向上を図る。
- ・業務プロセス管理表に関して、その意義や管理意識について、改めて周知・徹底を図り、より効率的な事務を進めていく。
- ・市民ニーズの多様化や社会情勢の変化に対応していくため、職員研修を充実することにより職員の資質向上を図るとともに、適正な定員管理に努めていく。

令和4年度 施策評価シート《令和2年度・令和3年度評価》

評価日		令和4年10月31日		No. 6 - 5	
基 本 事 項	施策名	第5節 持続可能な財政運営		所管部署名	総務部
	まちづくり目標	第6章 まちづくりの推進のために（行政運営）		評価責任者	戸張 悦男
	施策小項目	1 計画的な財源配分		関連部署名(1)	総務部財政課
		2 計画的な市債の活用		関連部署名(2)	総務部課税課
		3 財源の確保		関連部署名(3)	総務部収納課
4 財政状況の公開			関連部署名(4)	健康長寿部国保年金課	
施策の目的	計画的な行政運営を推進するために必要な財源が確保できるよう、継続的かつ安定的な財政運営をめざす。			役割分担	市民の役割 ・市の財政状況を理解するとともに、市民自らできることは、自ら行うよう努める。 ・市税に対する理解に努める。
施策に関する個別計画					

区分	指標名 (上段)		単位	設定時の値	実績値① (年度)	実績値② (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質 (下段)							
①	実質公債費比率		%	4.5	7.5	7.1	A	10
	減少することが良いとされる指標			H27	R2	R3		R3
②	市税の収納率		%	98.8	99.3	99.3	A	99
	増加することが良いとされる指標			H27	R2	R3		R3

施策の評価	評価軸		評価方法	評価点
	指標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> 順調 (100%以上の達成度) <input type="checkbox"/> おおむね順調 (80%以上の達成度) <input type="checkbox"/> やや順調でない (50~80%程度の達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない (50%未満の達成度)		指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。 合計点は 8点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数
施策の進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった		理由・説明 ・「実質公債費比率」については、目標値を下回り、健全な財政を維持できている。 ・「市税の収納率」については、目標値を上回り、目標達成している。 ・市民ニーズを把握していないが、潜在的に「市民負担の公平性」を望んでいる中、「市税の収納率」について目標値を上回る状況になっていることは、市民ニーズを反映できていると判断できる。 ・持続可能な財政運営を目指すには、予算編成、予算管理から起債や基金を管理し、決算分析において財政運営状況を判断することと、市の根拠財源である市税の管理が重要であり、事務事業の構成は妥当と判断できる。 ※構成する事務事業については裏面を参照	4点
市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった			3点
施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった			4点
施策に関する現状と課題	持続可能な財政運営の推進にあたり、国・県補助金や交付税措置のある地方債を活用するなど、有効な制度の活用を図っている。今後は、公共施設の長寿命化や、吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業の推進による市債残高の累増が課題となる。 また、市税の収納率については、適正な課税と公平な徴収に積極的に取り組んだ結果、目標値を達成することができた。今後も公平な徴収に努めるために、効果的な納税催告を行い、滞納繰越をさせないよう資力に応じた早期の滞納処分を実施していく。			総合評価
評価			事務事業構成 成果指標達成度 施策進捗度 市民ニーズ反映度 施策評価 レーダーチャート	4点
			評価軸 ①~④の 評価点の 平均点	

	貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)
				成果指標名	単位	R3目標値	R3実績値	
構 成 す る 事 務 事 業	1	202103	起債管理事業	1 実質公債費比率	%	7.6	7.1	現状のまま継続
	2	205102	市税滞納整理事務	1 市税収納率（現年課税分）	%	99.2	99.3	現状のまま継続
	3	202101	予算編成・予算管理事務事業	1 財政調整基金の年度末残高	千円	1,221,000	2,038,497	現状のまま継続
	4	202102	決算分析事業	1 ホームページのアクセス数	件	4,000	3,679	現状のまま継続
	5	204101	住民税賦課事務	2 個人市民税賦課決定税額(当初予算額)	千円	4,086,546	4,394,868	現状のまま継続
	6	204102	法人市民税賦課事務	1 法人市民税調定額(予算額)	千円	306,078	355,208	現状のまま継続
	7	204103	軽自動車税賦課事務	1 軽自動車税調定額（種別割）	千円	125,441	131,938	現状のまま継続
	8	204104	たばこ税調定事務	1 たばこの調定額	千円	454,000	494,687	現状のまま継続
	9	204201	固定資産税評価課税事務（土地）	1 固定資産税調定額（土地）	千円	1,724,431	1,716,908	現状のまま継続
	10	204301	固定資産税評価課税事務（家屋）	1 固定資産税調定額（家屋）	千円	1,710,427	1,711,067	現状のまま継続
	11	204302	固定資産税償却資産課税事務	1 固定資産税調定額（償却資産）	千円	450,000	434,999	現状のまま継続
	12	205101	市税収納整理事務	1 収納消込した市税収納額	千円	10,393,000	10,999,410	現状のまま継続
	13	205201	税外債権管理事務	1 徴収事務移管分の滞納繰越分収納率	%	30.6	36.1	現状のまま継続

特記事項 【市税滞納整理事務】
滞納整理事務は、滞納者への催告や納税交渉を繰返し行うことが収納率向上につながるため、催告等の内容や実施時期を見直して効率化を図ってきた。また、納税交渉を行い自主納付をさせることを基本とするが、納税意思や交渉余地がない滞納者に対しては、資力に応じて早期に滞納処分を実施することとした。

今後の展開 持続可能な財政運営を推進するため、引き続き国・県の制度や、交付税措置のある地方債を有効に活用するとともに、公債費比率や市債残高の推移を注視していく。また、財源の根幹である市税収入を確保するため、市民への税制度の理解を求めつつ、適正な課税と公平な徴収に取り組み、収納率の向上に努める。

令和4年度 施策評価シート 《令和2年度・令和3年度評価》

評価日	令和4年10月31日	No.	6	- 6
------------	------------	-----	---	-----

基 本 事 項	施策名		第6節 公有財産の適正管理	所管部署名	総務部	
	まちづくり目標		第6章 まちづくりの推進のために（行政運営）	評価責任者	戸張 悦男	
	施策小項目	1	公有財産の適正管理		関連部署名(1)	総務部財政課
		2	新庁舎の建設		関連部署名(2)	政策室
		3	公共施設等のマネジメント確立		関連部署名(3)	健康長寿部健康増進課
				関連部署名(4)	会計課	
施策の目的		行政サービスの提供に必要な適正な財産保有と公有財産の効率的・効果的で適正な管理をめざす。		役割分担	市民の役割 公有財産等の適正な維持管理や売却・処分、新庁舎建設に関心を高めるとともに、情報を共有化し、意見等を行政に発信することを目指す。	
施策に関する個別計画		公共施設等総合管理計画（平成27年度～令和26年度）				行政の役割

区分	指標名（上段）	単位	設定時の値	実績値① （年度）	実績値② （目標年度）	達成状況	最終目標値 （目標年度）
	指標の性質（下段）						
指 標	①	耐震性を確保した新庁舎の建設	-	完了	完了	A	完了
		-	-	H30	H30		-

評価軸	評価方法		評価点
	① 指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80～99%)、 C=2点(達成度50～79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 4点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数
② 施策の進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 順調（100%以上の達成度） <input type="checkbox"/> おおむね順調（80%以上の達成度） <input type="checkbox"/> やや順調でない（50～80%程度の達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（50%未満の達成度）	評 価 の 理 由 ・ 説 明 ・庁舎は、耐震性の高い災害拠点施設として平成30年3月に竣工し、平成30年5月7日から業務を開始した。また、令和元年5月末で旧庁舎の解体工事が完了した。 ・公共施設の長寿命化計画を踏まえ、吉川市公共施設等総合管理計画の改訂を行った。 ・新庁舎建設にあたり、市長キャラバンを実施するなど市民のニーズを取り入れることができた。 ・公有財産を管理する事務事業で構成されている。 ※構成する事務事業については裏面を参照	4点
③ 市民ニーズの反映度	<input checked="" type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった		4点
④ 施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった		4点
施策に関する現状と課題			
・旧庁舎の跡地利用について、福祉を目的とした事業の方針はあるものの、具体的内容や手法について検討する必要がある。 ・令和2年度に、吉川市公共施設長寿命化計画を策定した。また、令和3年度に吉川市公共施設等総合管理計画の改定を行った。 ・市が所有する未利用財産のうち、1件を公売し、落札した。引き続き未利用財産については、売却を行っていく必要がある。		事務事業構成 成 4 成果指標達成度 3 2 1 0 施策進捗度 市民ニーズ反映度	4点
		施策評価 レーダーチャート	評価軸 ①～④の 評価点の 平均点

構成する事業	貢献順位	事務事業番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)
				成果指標名	単位	R3目標値	R3実績値	
成	1	202201	庁舎管理事業	1 庁舎内における事故発生件数	件	0	0	現状のまま継続
	2	202301	市有建築物営繕事業	1 総合管理計画の改訂進捗率	%	100.0	100.0	現状のまま継続
	3	202205	公有財産等管理事業	1 公有地に対する苦情件数	件	0	0	現状のまま継続
	4	202202	集中管理車管理事業	1 車両稼働日数	日	270	251	現状のまま継続
	5	202203	バス管理事業	1 車両事故件数	件	0	0	現状のまま継続
	6	202204	特別職車両運転業務	1 事故件数	件	0	0	現状のまま継続
	7	202208	旧庁舎管理事業	1 庁舎跡地の方向性の決定	件	1	0	現状のまま継続

特記事項

- ・新庁舎建設事業は、令和元年度旧庁舎の解体工事が完了したため、事務事業が完了した。
- ・旧庁舎跡地については、令和2年度にサウンディングを実施した。

今後の展開

- ・旧庁舎跡地の活用について検討を進める。

令和4年度 施策評価シート《令和2年度・令和3年度評価》

評価日		令和4年10月31日		No. 6 - 7		
基本事項	施策名	第7節 地方分権の推進		所管部署名	政策室	
	まちづくり目標	第6章 まちづくりの推進のために（行政運営）		評価責任者	浅水 明彦	
	施策小項目	1	権限移譲の推進		関連部署名(1)	政策室
		2	広域連携の充実		関連部署名(2)	総務部市民課
					関連部署名(3)	
				関連部署名(4)		
施策の目的	自己決定、自己責任で、地域の問題を解決することをめざす。		役割分担	市民の役割	地方分権に向けた市の取り組みについて関心を持ち、理解することに努める。	
施策に関する個別計画				行政の役割	自己責任により自己決定し、自主・自律的に地域課題を解決する。	

区分	指標名 (上段)	単位	設定時の値	実績値① (年度)	実績値② (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質 (下段)						
指	① 計画期間内の権限移譲事務数	事務	-	0	0	D	5 H29～R3の累計
	増加することが良いとされる指標		-	R2	R3		
標							

		評価方法	評価点	
施策の評価	評価軸① 指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80～99%)、 C=2点(達成度50～79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。 合計点は 1点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数	1点	
	評価軸② 施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調 (100%以上の達成度) <input type="checkbox"/> おおむね順調 (80%以上の達成度) <input type="checkbox"/> やや順調でない (50～80%程度の達成度) <input checked="" type="checkbox"/> 順調でない (50%未満の達成度)	理由・説明 ・権限移譲の推進にあたっては、新たな権限移譲を受けるにあたり、事務量に応じた人員確保など受入体制の課題や、取扱件数の少ない事務のノウハウの蓄積に関する課題があり、受け入れができていない。 ・広域連携の充実については、埼玉県東南部連絡調整協議会や住民の幸福実感向上を目指す基礎自治体連合において、共通する行政課題の調査・研究を行っている。	1点
	評価軸③ 市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	理由・説明 ・権限移譲を受けた事務について、当市において継続して事務を取り扱うことにより、市民サービスの向上につながっているが、上記の理由により、新たな権限の受け入れができていない。 ・広域連携について、公共施設予約システムの運用により、市民の利便性向上につながっている。	3点
	評価軸④ 施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	理由・説明 施策の体系に従い、各施策小項目に対応した事務事業で構成しており妥当である。 ※構成する事務事業については裏面を参照	4点
施策に関する現状と課題			総合評価	
・権限移譲においては、埼玉県権限移譲方針を踏まえ受入れを検討しているが、年間の取扱件数が少ない事務については、ノウハウが蓄積されにくいという課題があるため、移譲を受けにくい。 ・広域連携については、公共施設予約システムの運用のほか、共通する行政課題の調査研究などを埼玉県東南部都市連絡調整会議において行っている。また、他自治体とともに新たな連携を研究している。		成果指標達成度 事務事業構成 施策進捗度 市民ニーズ反映度 施策評価 レーダーチャート	2点	
			評価軸①～④の評価点の平均点	

貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)	
			成果指標名	単位	R3目標値	R3実績値		
構 成	1	101311	地方分権推進事務	1 県特例条例による移譲対象事務	件	52	52	現状のまま継続
	2	101307	広域圏行政推進事業	1 当該年度における広域での取組事業の数	件	3	0	現状のまま継続
	3	203204	旅券事務事業	1 旅券の交付件数	件	250	241	現状のまま継続
	4	203205	広域斎場負担事業	1 斎場式場利用者の総合的な印象	件	90	93	現状のまま継続
す る 事 務 事 業								

特記事項

- ・地方分権推進事務においては、市民サービスの向上につながる事務や地域の課題を解決するために必要な事務について移譲を受けているが、令和2年、令和3年度については、新たな移譲事務は無かった。
- ・広域圏行政事務においては、埼玉県東南部都市連絡調整会議で引き続き公共施設相互利用のための予約システムの運用や共通する行政課題の調査研究を実施している。この他、他自治体の先進的施策に関する情報収集・交換に努めた。

今後の展開

- ・権限移譲においては、市民の利便性の向上を図るため、権限移譲の検討を行う必要がある。今後も埼玉県から権限移譲方針に基づき移譲対象事務として提示されたもののうち、市民の利便性向上を考慮した上で、本市において受け入れ環境が整った事務から権限移譲を進める。
- ・既に権限移譲を受けた事務について、取扱件数が極度に少ない事務が発生した際の対応がスムーズに行えるよう、庁内担当課の確認や県からのマニュアル引継ぎなど、事務の整理を進める。
- ・広域連携については、引き続き埼玉県東南部都市連絡調整会議等と共通する行政課題の調査及び研究を実施するなどの連携を図っていく。

令和4年度 施策評価シート《令和2年度・令和3年度評価》

評価日		令和4年10月31日		No. 6 - 8		
基 本 事 項	施策名	第8節 シティプロモーションの推進	所管部署名	政策室		
	まちづくり目標	第6章 まちづくりの推進のために（行政運営）	評価責任者	浅水 明彦		
	施策小項目	1 魅力の発掘と充実		関連部署名(1)	政策室	
		2 新たな魅力の創出		関連部署名(2)		
				関連部署名(3)		
			関連部署名(4)			
施策の目的	市民が誇りに思えるような吉川の魅力を創出するとともに、市内外に発信することで、まちの価値を高めることをめざす。		役割 分割 行政 の 担 い	市民の役割 ・市の歴史や文化、産業に興味を持ち、SNSなどによる情報の発信に努める。 ・市の新たな魅力の発見・発掘や創造に努める。		
施策に関する個別計画	吉川市シティプロモーション基本方針(平成28年度～)			市民の役割	市民が誇りに思えるような吉川の魅力を創出するとともに、市内外に発信することで、まちの価値を高めることをめざす。	
	吉川市シティプロモーション戦略プラン(令和3年度～令和8年度)					
	吉川市まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成27年度～令和3年度)					

区分	指標名(上段)	単位	設定時の値	実績値① (年度)	実績値② (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質(下段)						
①	市への愛着度	%	78.3	73.3	76.8	D	80.0
	増加することが良いとされる指標		H27	R2	R3		R3
②	人口(4月1日現在)	人	71,179	73,217	73,043	D	75,000
	増加することが良いとされる指標		H28	R2	R3		R3

評価軸	評価方法		評価点
	① 指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 2点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数
② 施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調 (100%以上の達成度) <input type="checkbox"/> おおむね順調 (80%以上の達成度) <input checked="" type="checkbox"/> やや順調でない (50~80%程度の達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない (50%未満の達成度)	評価の理由・説明 「愛着度」については、在住年数を重ねるほど高くなる傾向の指標であり、近年転入者が増加していることなどから、目標達成に至っていない。 市民意識調査において市への愛着度や認知度に対する認識の把握、さらに、市の自慢について継続的に調査を行っており、結果を庁内各部署に対し、各取組の今後の参考となるよう集計データを提供している。 今まで特産品などを活用したプロモーションや映像作品の撮影支援を各部署において行っていたが、本施策では、それらの取組みを整理し、方向性を定めた上で、全庁的に統一感を持って市の魅力を発信していく必要がある。方針やプランとして取りまとめるための事務事業を設定しており妥当である。 ※構成する事務事業については裏面を参照	2点
③ 市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった		3点
④ 施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった		4点
施策に関する現状と課題			
シティプロモーションにつながる事業は、各部署において各々展開されている状況である。事業の位置づけやプロモーション活動等について、全庁的に統一感を持ったプロモーションの必要がある。			3点
		施策評価レーダーチャート	評価軸①~④の評価点の平均点

	貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)
				成果指標名	単位	R3目標値	R3実績値	
構	1	101209	シティプロモーション事業	1 市への愛着度	%	80.0	76.8	手段を改善
	2	101313	地方版総合戦略策定事業	1 吉川市の幸福度調査	%	85.0	85.2	現状のまま継続
成								
す								
る								
事								
務								
事								
業								

特記事項

- ・令和3年度に予定していたシティプロモーション基本方針、戦略プランの改定については、目標など方向性を見直すため令和4年度に改定することとした。
- ・令和3年度に「第1期吉川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」が計画満了となったことから、第6次吉川市総合振興計画の策定に併せて検討し、令和4年度を始期とする「第2期吉川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。

今後の展開

- ・各部署において各々展開されている特産品などを活用したプロモーションや映像作品の撮影支援に関する取組を整理し、市民意識調査などで得られたデータを踏まえながら、シティプロモーション基本方針、戦略プランの改定を行う。そして、基本方針・戦略プランに沿って、全庁的に統一感を持って更なる効果的なプロモーションへとつなげていく。
- ・「第2期吉川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」については、各施策の進捗管理や個別事業の効果検証を行い、目標達成に向けた取組を推進する。